

1/20 ご寄附ありがとうございます

住友化学労働組合岐阜支部から町社会就労センターひかりの里へ、74,000円の寄附をいただきました。

田代孝司支部長は「住友化学岐阜プラント従業員約160人から、操業している安八町への感謝の思いです」と挨拶されました。

同支部からは長年にわたって寄附をいただいております。施設の指定管理者である町社会福祉協議会から感謝状が贈られました。



▲感謝状を手にする田代支部長

1/23 くみひも 組紐体験

名森小学校の4年生が養蚕の学習の締めくくりとして、育てた800頭程の蚕の繭から取った糸を使って組紐体験が行われました。

30年間講師を務めてくださっている染織家の所鳳弘さんは、日本文化の普及に貢献したとして昨年旭日単光章を受章されました。

所さんは「親子2代に渡って組紐を教えた人もいるようで驚いています。養蚕について学習を続けている学校は珍しいです。今後も続けていって欲しいです」と話されました。



▲組み方を所さんに直接教えてもらいました

1/23・24 税について学ぼう

各小学校の6年生を対象に、次代を担う児童に税の意義や役割を正しく理解してもらおうと役場税務課職員による租税教室が開催されました。

税の種類や税の無い世界だとどうなるのか等、税のあり方について学びました。

学習を終えた児童は「税金が無くなれば、色々な物が安く買えるから無くなれば良いのと思っていたけれど、無くしてはならないと分かりました」と話してくれました。



▲意見を発表する児童（結小学校）

1/24 高齢者見守り協定

町と西美濃農業協同組合は、高齢者見守りネットワーク事業の協定を締結しました。

この協定は、農協職員が業務中に高齢者等の異変に気が付いた場合に町や警察に情報提供するものです。

小林徹組合長は「民生委員さんなども見回りをしてみえると伺っていますが、見守る目は多い方が良いと思います。これからも町と連携していい地域をつくっていききたいです」と話されました。



▲小林組合長と堀町長